

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月21日(火)

事務事業		健康診査事業		担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3347	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり	根拠法令 個別計画等	健康増進法					
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本事業は、生活習慣病の予防、疾病の早期発見を促進するため健康診査を実施し、青年期からの健康についての認識と健康づくりの推進を図ることを目指すものである。(30歳代健診、健康増進法に基づく健診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診)								
目的 ※何のために		生活習慣病の予防及び疾病の早期発見を促進するため								
対象 ※誰・何を対象に		30歳代健診、健康増進法に基づく健診、肝炎ウイルス検査(30歳以上)、骨粗しょう症検診(20歳以上)								
手段 ※どのように		集団健(検)診にて実施する。								
成果 ※何を求めるか		健康診査等の受診者が増加する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	4	健康増進費	健康診査事業	2,903,780
本事業の 主な業務		・30歳代健康診査の実施					・			
		・健康増進法に基づく健康診査の実施					・			
		・肝炎ウイルス検査の実施					・			
		・骨粗しょう症検診の実施					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	6,526,000	5,199,000	4,792,000	4,892,000	4,338,000	4,452,000
	決算額	4,305,818	3,955,978	3,666,729	3,102,144	2,903,780	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	474,000	559,000	432,000	503,000	420,000
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	400	0	0
		一般財源	3,831,818	3,396,978	3,234,329	2,599,144	4,032,000
人件費	従事職員数(人)	0.55	0.42	0.35	0.29	0.26	0.20
	人件費相当試算※	4,278,450	3,268,440	2,836,750	2,359,440	2,018,098	1,626,270
総事業費試算		8,584,268	7,224,418	6,503,479	5,461,584	4,921,878	6,078,270

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	30歳代健診回数		目標値	回	100	108	108	108	108	108
			実績値		108	114	116	100	116	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成29年度の実績から目標値を設定した / 健診回数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	30歳代健診受診率		目標値	%	13	9.87	10.37	10.87	11.37	11.87
			実績値		9.37	7.62	7.14	5.8	5.5	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成29年度の実績から目標値を設定した / 受診者数／対象者数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	30歳代健診受診勧奨（要治療）者の医療機関受診率		目標値	%	0	0	22.14	27.14	32.14	37.14
			実績値		0	17.14	18.84	10.81	11.11	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成30年度の実績から目標値を設定予定 / 医療機関受診者数／要受診勧奨者						
	実績値の算出式									
成果指標 3	30歳代健診2年連続受診者の検査値改善割合（前年5.6以上）		目標値	%	0	0	52	54	56	58
			実績値		0	50	36.36	52.94	71.43	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成30年度の実績から目標値を設定予定 / HbA1c改善者／連続受診者						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	30歳代健診受診率は、新型コロナウイルス感染症予防に留意し予定どおり実施し、健診受診希望者に対し、目標以上の健診機会を提供することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	30歳代健診受診率は、健診回数を昨年度より増加し実施したが昨年度より低下した。また、30歳代健診受診勧奨（要治療）者の医療機関受診率は、昨年度より向上したが、目標には至らなかった。
			評価者 第一係長 石川初恵 第二係長 小井土和美

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	30歳代健診受診勧奨（要治療）者の医療機関受診率向上のため、要医療者については、手紙にて受診勧奨しているが、受診勧奨方法等について見直す必要がある。
			評価者 第一係長 石川初恵 第二係長 小井土和美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	コロナ禍であっても健診を受診するよう啓発する必要がある。
達成状況及び その効果	コロナ禍ではあったが、受診対象者に対して健診受診機会を確保し、受診勧奨を行ったが、受診率の向上には至らなかった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	健康診査事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3347
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 保健センター所長 穂山光昌					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	健診については不要不急ではないためことも含め、30歳代の受診機会のないかたが30歳代健診へ、また、30歳代健診受診判定「要医療」のかたが必ず医療機関につながるよう受診勧奨を行う。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

